
絵図でさるく長崎学 <第1回>

日時 平成30年4月26日(木) 10:00~12:00

講師 村崎 春樹 先生

貴重な資料を通して、長崎の歴史をより深く知る講座です。

◎紅毛人と日本人、特に丸山遊女との関係について

前年度よりも増えて25名が参加となりました。

先生には、スライドを使いながら、わかりやすく話を進めていただきました。

受講者は、メモを取りながら、先生の話に熱心に聞いていました。



受講者の感想

丸山遊女と、日本の吉原
や島原遊女との違いがわ
かった。



絵図でさるく長崎学 <第2回>

日 時 平成30年5月10日(木) 10:00~12:00

講 師 村崎 春樹 先生

◎出島出入りの遊女が住んでいた丸山遊郭跡をあるく

集合場所：丸山公園



長崎検番

昔は「町検」と「山検」とに分かれていました。のち合併し、現在の長崎検番となりました。

ちょうどお稽古中で、三味線の音が心地よかったです。

丸山町と長崎村の境目



梅園天満宮の狛犬
歯痛狛犬と呼ばれていて、口に飴を入れて身代わりとして
お願いされているそうです。



絵図でさるく長崎学 <第3回>

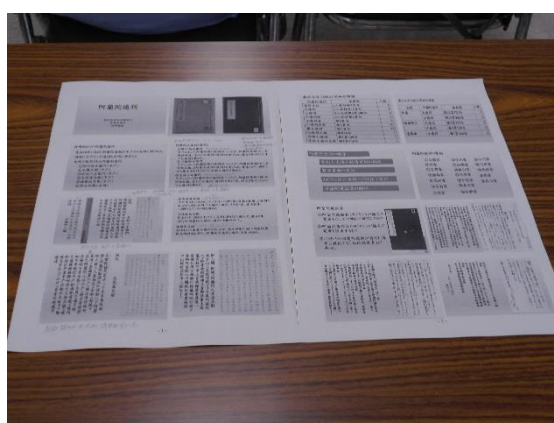
日 時 平成30年5月17日(木) 10:00~12:00

講 師 村崎 春樹 先生

◎紅毛人と交流を深めた阿蘭陀通詞について



阿蘭陀通詞は、長崎出島のオランダ商館で通訳や貿易事務などに従事していました。その構成は、大通詞、小通詞、稽古通詞が基本でしたが時代とともに諸役が設けられていき、給与も違ったそうです。



《受講者の感想》

通詞の役割、成り立ち、給与等、詳しく教えていただいた。

外国語を学ぶのは大変だったことを改めて思った。